

一人一人の意識

いわぬまにしちゅうがく、しゅう
岩沼西中学校

三年

最上

里織

近年、地球温暖化による気候変動が問題に
なっています。気候変動の例として梅雨の長
期化が挙げられます。今年と昨年の梅雨明け
を比べてみると、沖縄以外全日本の地方で遅れ
が出ていました。このように雨が降る期間が
長くなると、土砂災害の発生にも繋がります。
今年の七月三日から四日にかけて起きた土
砂災害では、死者八十二名、行方不明四名、
負傷二十八者というように、多くの人被害
に遭いました。中心地である熊本県での死者
は六名でした。私はこのニュースを見た時に、
可哀想だなと思いました。なぜなら、土砂災
害という、自分ではどうすることもできない
問題で被害に遭っているからです。
では、土砂災害の被害を減らすためにはど
うすればよいのでしょうか。
一つ目は、常にニュースなどを見て、その
時の気象状況を把握することです。例えば、

近くで土砂崩れが起きていることに気付かずに出かけてしまっただら、土砂にのみ込まれてしまう危険性があります。ニュースなどを見ることで、自分が今とるべき避難行動も知ることができます。

二つ目は、危険な状況の時に軽い気持ちで外出しないことです。少しぐらいなら大丈夫^レという考えが自分の命を落とすことに繋がっています。なので、どんな時も自分の命を守ることを一番に考えて行動することが大切です。

三つ目は、砂防ダムなどの施設を作ることです。砂防ダムには、川底が削られるのを防いだり、一度にダムが大量に流出するのを防ぐはたらきがあります。しかし、砂防ダムを一基作るだけで、一億から四億もかかってしまうため、たくさん作ることができないのです。

では、土砂災害の元々の原因である地球温暖化が進まないようにするためにはどうすれば

ばよいのでしょうか。

地球温暖化の原因は、自動車の使用などによる温室効果ガスの増加と言われています。なので、二酸化炭素排出量の少ないハイブリットカーや電気車を使うことが対策の一つだと考えられます。グリーンカーテンや屋上の緑化活動なら、車を持っていない人でもやることができます。

このように、土砂災害も地球温暖化も、一人一人が意識すれば、小さく抑えることができると思っています。自分にできることをやってみることが、地球の安全を守ることに繋がると、作文を通して知ることができました。